

### 侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14～52週に53例、2014年に66例、2015年に110例、2016年1～2週に10例の届出があった。診断月別では、2016年1月はすでに10例の届出があったため(図)、2013年14週から2016年2週に届出された239例の発生状況をまとめた。

性別は、男性145例(60.7%)、女性94例(39.2%)だった(表)。

年齢群別では、70代52例(21.8%)、60代47例(19.7%)、5歳未満44例(18.4%)、80代36例(15.1%)が多く、年齢群別届出割合は、5歳未満は2013年の34.0%から2015年の13.6%と減少傾向にあるが、60～80代は2013年の49.1%から2015年の56.4%と大きな変化なく届出の約半数を占めている(表)。

図 2013年14週～2016年2週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症  
診断月別・年齢群別届出数 239例

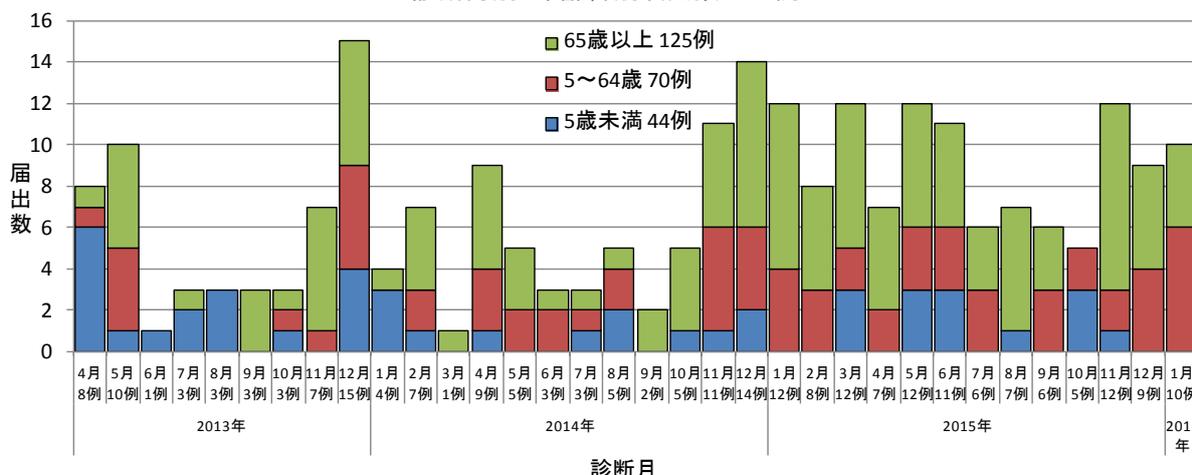


表 2013年14週～2016年2週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	性別	2013年14～52週		2014年		2015年		2016年1～2週		合計	
		届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性	男性	32	60.4	41	62.1	65	59.1	7	70.0	145	60.7
別	女性	21	39.6	25	37.9	45	40.9	3	30.0	94	39.3
年 齢 群	5歳未満	18	34.0	11	16.7	15	13.6	0	0.0	44	18.4
	5～9歳	1	1.9	0	0.0	3	2.7	0	0.0	4	1.7
	10代	1	1.9	0	0.0	2	1.8	0	0.0	3	1.3
	20代	0	0.0	0	0.0	1	0.9	0	0.0	1	0.4
	30代	3	5.7	2	3.0	8	7.3	2	20.0	15	6.3
	40代	1	1.9	4	6.1	4	3.6	1	10.0	10	4.2
	50代	3	5.7	6	9.1	7	6.4	1	10.0	17	7.1
	60代	8	15.1	16	24.2	19	17.3	4	40.0	47	19.7
	70代	10	18.9	14	21.2	26	23.6	2	20.0	52	21.8
	80代	8	15.1	11	16.7	17	15.5	0	0.0	36	15.1
	90代	0	0.0	2	3.0	8	7.3	0	0.0	10	4.2
	合計	53	100.0	66	100.0	110	100.0	10	100.0	239	100.0

症状等は、発熱202例(84.5%)、菌血症152例(63.6%)、肺炎101例(42.3%)、咳82例(34.3%)、意識障害61例(25.5%)、全身倦怠感41例(17.2%)、髄膜炎40例(16.7%)、頭痛27例(11.3%)、項部硬直22例(9.2%)、嘔吐22例(9.2%)、痙攣10例(4.2%)、中耳炎7例(2.9%)、大泉門膨隆1例(0.4%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が236例(血液221例、髄液34例)、病原体抗原の検出が28例、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出が7例(血液3例、髄液2例)あった(複数報告あり)。